



XIB キャピタルパートナーズ 森・濱田松本法律事務所 共催ウェビナー

株主アクティビズムの現在と展望—ポスト・コロナの変化に備えて—

新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、2020年のアクティビストによるパブリック・キャンペーンの数は、グローバルには前年から大きく減少しました。もっとも、アクティビストの活動に既に回復の兆候が見られており、また、新型コロナウイルスの影響が落ち着いた後には、従前以上に活発化するともいわれています。加えて、日本は、他の先進国と異なり、コロナ禍でもキャンペーン数は減少しておらず、引き続きアクティビストの主要な投資対象エリアになっています。

アクティビストの投資活動の傾向もポスト・コロナに変化していくことが予想されます。例えば、アクティビストの要求事項は、資本効率の改善、取締役の交替等が引き続き主要なトピックになることに加え、事業ポートフォリオの見直し、ESGを含むサステナビリティ等に関連する事項が含まれてくることが考えられます。また、アクティビスト対応を行うにあたっては、ますます影響力が大きくなっている機関投資家の関心や投資行動を理解しておくことの重要性もさらに高まっています。さらに、昨年に改正された外為法の影響について正しく理解することも不可欠になります。

本セミナーでは、最新のデータや実例を踏まえ、株主アクティビズムに関する直近の状況やポスト・コロナに予想される変化について確認した上、上場会社として、今後どのように株主アクティビズムに備え、対応していく必要があるかについて解説いたします。

また、会社の経営者・実務担当者の視点から、アクティビ

ストをどのように捉えるべきか、実際にどのような会社が株主アクティビズムの対象になり、どのような要求がなされるのか等について、具体的に説明いたします。

日時 2021年2月2日（火）12時～13時30分

場所 Microsoft Teams を使用したヴァーチャルセミナー（ウェビナー）形式で実施します。

講師 松下 憲（森・濱田松本法律事務所 パートナー 弁護士）

国内外のM&Aとコーポレートガバナンスを中心に企業法務を取り扱う。特に、公開買付けをはじめとする上場会社のM&A、事業会社・PEファンドによるカーブアウトM&A、敵対的買収・アクティビスト株主対応等の豊富な経験を有する

中野 隆喜（XIB キャピタルパートナーズ株式会社 シニアアドバイザー）

前UACJ代表取締役兼専務執行役員。2017年より2020年4月まで経営トップとして指揮を執る。UACJ入社以前は2013年まで古河スカイにて常務取締役等を歴任し、それ以前は2004年まで新日本製鉄（現日本製鐵）に勤務

お申込み 本セミナーにお申込みを希望される方は、下記担当者までお知らせください。

担当：會田 靖夏（XIB キャピタルパートナーズ 取締役パートナー）

連絡先：shizuka.aida@xibcapital.com / 03-6259-1156